

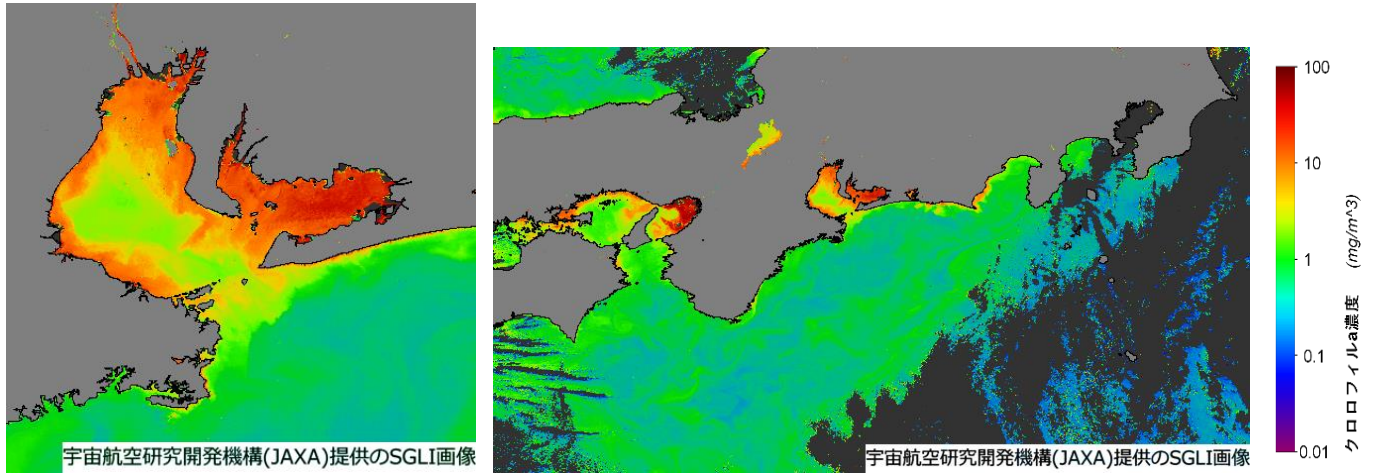
海況速報（クロロフィル a 分布）

愛知県水産試験場 漁業生産研究所

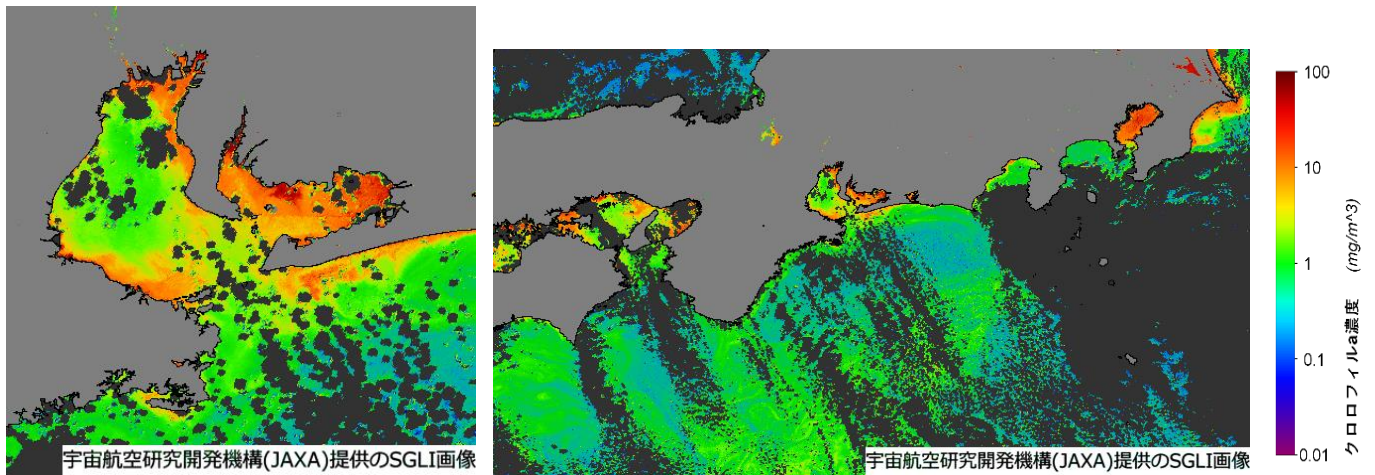
令和2年3月9日

衛星画像をみると、三河湾はほぼ全域で濃度が高くなっています。伊勢湾では湾中央部は低いまですが、湾沿岸域は8日の降雨の影響で濃度が上昇したと考えられます。渥美外海は黒潮からの暖水流入が続いているため、変化はほとんどありません。

しきさいによるクロロフィル a 濃度分布（3月9日）



しきさいによるクロロフィル a 濃度分布（2月27日）

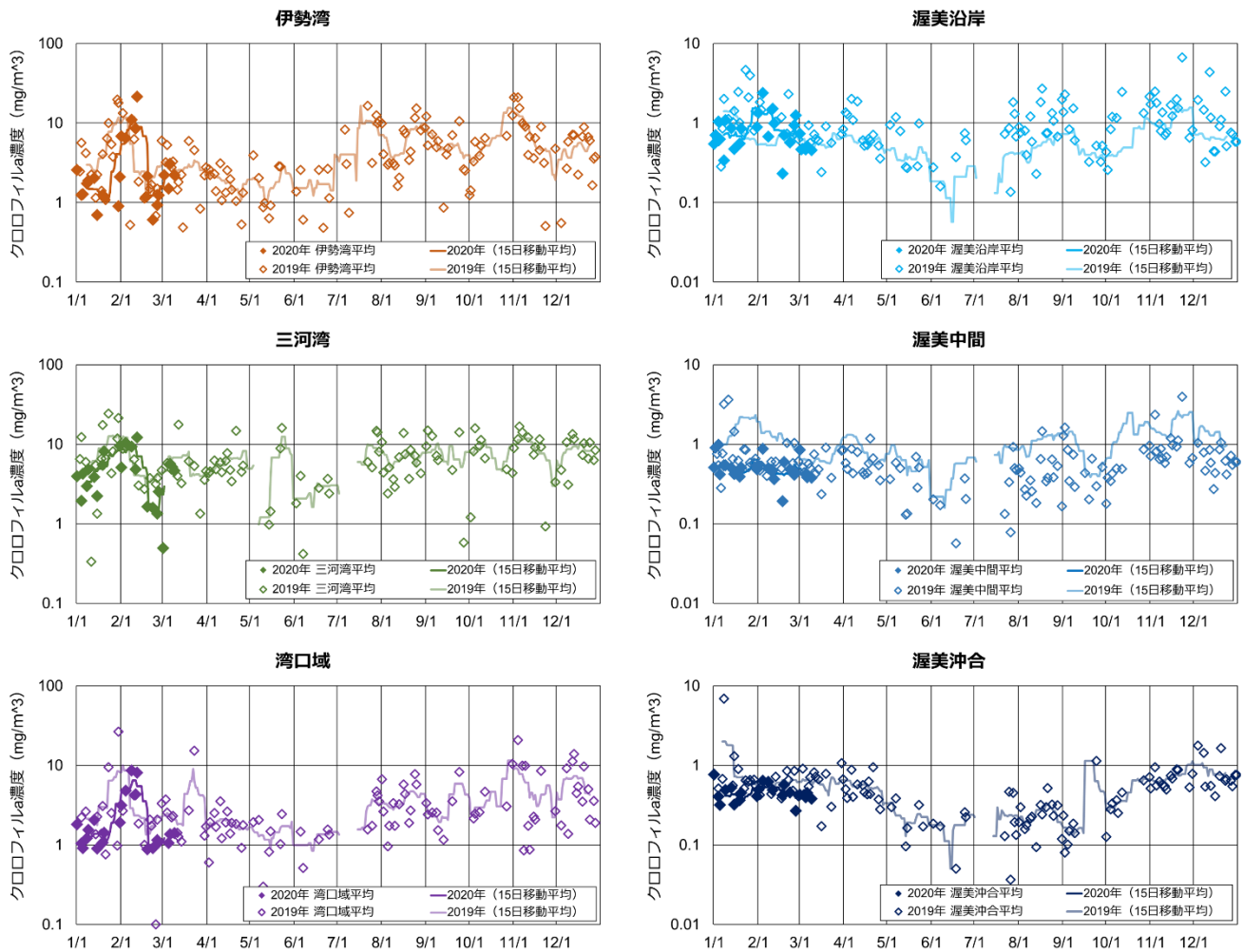


※画像データによるクロロフィル a 濃度は、実際の濃度と異なる場合があります。

また、詳細図と広域図で内湾域の濃度に誤差が生じることがあるため、目安としてご利用ください。

クロロフィル a 濃度の変動

クロロフィル a 濃度の変動を見ると、伊勢・三河湾は2月下旬から3月上旬にかけてやや上昇しました。湾口域は2月中旬からの減少後、伊勢・三河湾と異なり、横ばいとなっています。渥美沿岸・中間・沖合は1月から断続的に黒潮系暖水が流入しているため、横ばいで推移しています。



観測衛星「しきさい」に搭載された SGLI センサーから得られた表層クロロフィル a 濃度をモニタリングしています（令和2年3月9日までのデータ）。

